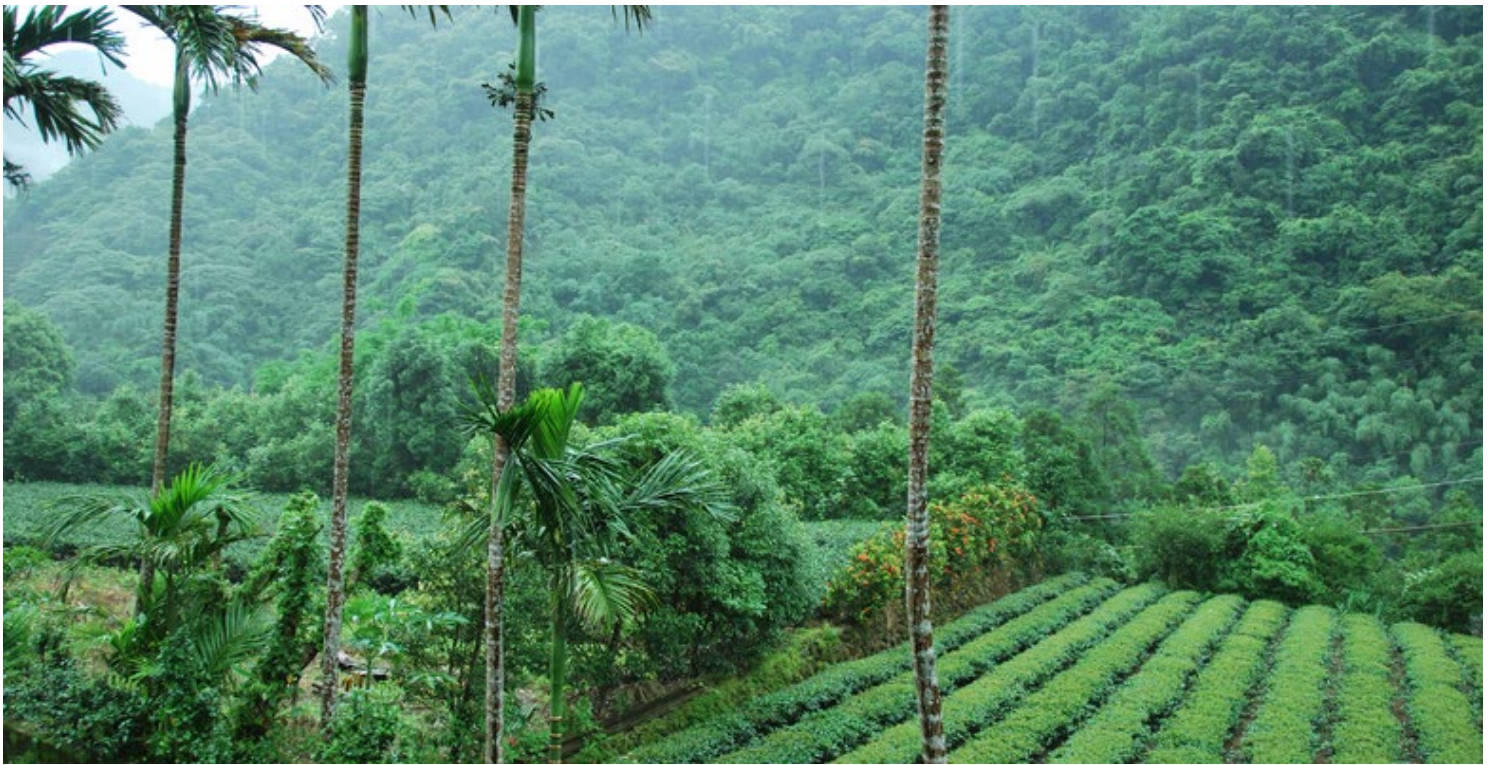




チャイニーズティーマスター 小田 純也による  
世界 中国茶紀行

Vol.11 東方美人 幸運の虫



Vol.10 でご紹介しました東方美人の誕生に欠かせない  
「幸運の虫」についてご紹介いたします。

※ ページ内に虫の写真が掲載されております。





## 幸運の虫、ウンカ

台湾は中国大陸と並び、数々の銘茶が作られています。「東方美人」は台湾独自のお茶で、その成り立ちは6月の芒種（6月5日頃）前後一週間に、ウンカ（=チャノミドリヒメヨコバイ）という昆虫が多く発生して茶葉の栄養分を吸うことに始まります。

特有のスコールのような雨が降り、太陽があり南の風が吹く、という蒸し暑いこの時期にウンカは多く発生します。ウンカの繁殖は早く、倍々で一気に増え、5日間程

が活動のピークのため、その期間に合わせて、ウンカの被害を受けた茶葉を選んで収穫します。

被害を受けた茶葉だけを摘むため、一日に収穫出来る量はごくわずか。技術や設備が整っていても、最後は「運」がものをいうお茶なのです。



ウンカの体長は幼虫が約 1mm、成虫は約 2.5mmほどの小さな虫です。茶葉とほぼ同系色のため、肉眼では発見しづらく、わずかな振動でも素早く跳ね飛び、とても動きが速いため撮影は困難です。





もともとウンカは稲作文化圏においては害虫で、日本では江戸時代（1600-1868年）の享保の大飢饉と天保の大飢饉では大被害を受けました。

お茶の樹はツバキ科の常緑樹のため、葉の表面はロウ質で覆われていることから、ウンカは柔らかい新芽や葉の裏側を好みます。

ウンカの被害により茶葉に起こる変化

ウンカの被害を受けた葉とそうでない葉はいったい何が違うのでしょうか。



お茶の葉はウンカから逃げ

ることができません。ウンカの被害を受けると、葉内では細胞組織が破壊され、栄養分の補給路を断たれ、葉は茶褐色に変色し、硬く丸くなります。そして虫害ストレスを受けることにより特有の香気成分を作ります。これは茶葉がもつ生体防御の働きが関係しています。

## 昆虫のジャングル

茶葉から発生する香りはウンカの天敵であるクモを誘引するといわれており、東方美人の茶園ではクモの巣があちらこちらに見られます。



またテントウムシが多いことも東方美人の茶園の特徴です。テントウムシから身を守ろうと、アブラムシは蜜と引き換えにアリが守っています。



さらに蝶々や蜂も飛んでおり、東方美人の茶園では、あえて害虫駆除剤などの農薬は使用せずに、生態系の相利共生のバランスが保たれた、まさに昆虫のジャングルのような印象です。

次回 Vol.12 では、ウンカの被害を受けた幸運の茶葉を収穫してから完成にいたるまで、手間暇かけた東方美人が出来るまでをご紹介します。

撮影：小田 純也

#### 中国料理 香桃

レストランのご予約・お問い合わせ

TEL 06-6343-7020 (直通)

営業時間 10:00 a.m. ~ 7:00 p.m.

[rc.osarz.restaurant.rsv@ritzcarlton.com](mailto:rc.osarz.restaurant.rsv@ritzcarlton.com)

ザ・リッツ・カールトン大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 25 号